

Parallels Desktop® 5 for Mac Read Me

Parallels Desktop for Mac build 5.0.9220 へようこそ。このドキュメントには、正常な Parallels Desktop for Mac のインストールおよび、仮想マシンのセットアップに関する情報が含まれています。

目次:

1. Parallels Desktop for Mac の概要
 2. 更新情報
 3. システム要件
 4. サポートするゲストオペレーティングシステム
 5. Parallels Desktop のインストール
 6. Parallels Desktop 5 for Mac へのアップグレード
 7. Parallels Desktop のアクティベーション
 8. 仮想マシンの設定
 9. 既知の問題
 10. 著作権表示
 11. お問い合わせ先
-

1. Parallels Desktop for Mac の概要

Parallels Desktop® 5 for Mac は、Intel® プロセッサ (1.66 GHz 以上) を搭載した Macintosh® コンピュータ上に仮想マシンを作成するための仮想化ソリューションです。Windows®、Linux®、またはその他のオペレーティングシステムを各仮想マシンにインストールして、これらのオペレーティングシステムや、そのアプリケーションを Mac OS X のアプリケーションと並べて実行できます。

Parallels の受賞歴のあるハイパーバイザベースの仮想化テクノロジーを基盤とする Parallels Desktop により、以下のようなことが実現します:

- 使いやすく高性能な仮想マシンを作成する。
- 仮想マシンで 32 ビットや 64 ビットのオペレーティングシステムを使用する。
- Mac を再起動することなく、Windows や Linux のアプリケーションと Mac OS X のアプリケーションを並べて使用する。
- Mac および仮想マシンのファイルやアプリケーションを同じように操作する。
- 物理コンピュータと VMware、Microsoft Virtual PC または VirtualBox の仮想マシンから Parallels 仮想マシンを作成する。

Macintosh コンピュータ上で実行する複数のオペレーティングシステムの操作を強

化するため、Parallels Desktop にはいくつかのユーティリティが含まれます：
Parallels Transporter® は物理コンピュータおよび仮想マシン (VMware、Microsoft Virtual PC または VirtualBox) の移行に、Parallels Image Tool は、仮想ハードディスクの管理に、Parallels Compressor® は、仮想マシンサイズの管理に、そして Parallels Mounter は、仮想マシンを起動せずに、仮想マシン内のコンテンツにアクセス可能にします。

2. 更新情報

Parallels Desktop 5 for Mac (build 5.0.9220) における更新情報

このバージョンの Parallels Desktop は、以下の新しい機能と、性能の向上が含まれます。

グラフィックス

- Direct X および OpenGL をサポートする Windows WDDM ドライバ – Windows Vista および Windows 7 の仮想マシンにおいて Coherence を含むさまざまな表示モードで Aero テーマを有効にできます。
- Windows および Linux ゲスト OS において マルチモニタをサポート – 仮想マシンのフルスクリーンおよび Coherence で、お使いの Mac のすべてのディスプレイを使用できます。
- DirectX 9 Shader Model 3 - Windows 仮想マシンで DirectX 9.0c with Shader Model 3 がサポートされます。
- Linux ゲスト OS において OpenGL 2.1 をサポート – Linux 仮想マシンで、OpenGL (2.1 まで) を必要とするアプリケーションが実行可能です。

仮想化

- Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット) をサポート
- Mac OS X v10.6 Snow Leopard をホスト OS としてサポート。64 ビット Snow Leopard もサポートします。
- 仮想化エンジンの全般的なパフォーマンスを向上しました。
- SMP のスケーラビリティとパフォーマンスを向上しました。
- 8-way SMP : 一つのか仮想マシンに最大 8 つの仮想 CPU の割当ができます。
- Intel VT-x2 (VPIDs、EPT と FlexPriority) をサポート – Intel VT-x2 仮想化テクノロジーのサポートにより、仮想マシンのさらにパフォーマンスが向上します。
- KVM 準仮想 – 準仮想化された Linux ゲスト OS でパフォーマンスが向上します。

- スナップショットを強化。
- Boot Camp 仮想マシンのパフォーマンスを向上。
- Windows 仮想マシンの起動スピードを強化。

新しいユーザーインターフェース

1. 新しい仮想マシンウィンドウ

- Quartz Composer アニメーションを追加。
- 仮想マシンリストの色分けに同期。
- 外観とシンプルなコントロールを強化。

2. 仮想マシン構成の編集を強化。

- 設定を使いやすく分類
- 外観を強化

3. Parallels Desktop 環境設定の強化

- 外観を強化
- 設定を使いやすく分類

4. 仮想マシンリストの強化

- ドラッグアンドドロップのサポート - 仮想マシンリストに、既存の仮想マシンのファイルをドラッグして追加します。
- ドラッグアンドドロップによる仮想マシン順序の入れ替え - 仮想マシンをドラッグすることにより、リストを変更します。
- 仮想マシンを色分け - 仮想マシンを色分けすることにより、Finder でのフォルダや仮想マシンリストで強調します。

5. シンプルになった Parallels Desktop メニュー構成 - より直感的なメニューへ。

6. フルスクリーンでのアクティブスクリーンコーナー - フルスクリーンモードでスクリーンのコーナーにマウスを移動したときに、操作の実行を指定します。

7. 操作の禁止 - Parallels Desktop と仮想マシンの設定で変更を禁止します。

8. 新規仮想マシンアシスタントの変更: より分類化された新規仮想マシンアシスタント。

インテグレーションツールと機能

- Crystal モード - Coherence のすべての便利な機能を提供し、Parallels Desktop のインターフェースの要素を隠して、Windows のアプリケーションのみを Mac のアプリケーションと並べて同時に表示するモードです。
- Coherence の強化 - Mac のディスプレイ上での Windows プログラムの動作パ

パフォーマンスが向上しました。Aero テーマは現在 Coherence でもサポートされています。

- MacLook - Windows の外観を変更します。Windows プログラムを、ネイティブな Mac アプリケーションのような外観にします。

- サードパーティ製仮想マシン操作の強化 - VMware および Microsoft Virtual PC 仮想マシンは、仮想マシンリストに自動的に追加され、Parallels 仮想マシンに簡単に変換できます。

- 前バージョンからのスムーズなアップグレード - 変換が必要ないため、前のバージョンの Parallels Desktop から安全なアップグレードができます。

- Mac メニューバー上の Parallels アイコン - Crystal モードにおいて、新しいメニューバーアイコンで、Mac メニューバーから Windows スタートメニューに直接アクセス可能にします。

- アプリケーションが実行されていないとき、仮想マシンを一時停止 - この機能を有効にすると、Windows アプリケーションが使用されていないときに、仮想マシンを一時停止にし、これにより、CPU およびメモリリソースを Mac へ戻します。

- Dock 上の Windows アプリケーションフォルダ - Mac OS X の Dock から Windows プログラムをストレートに開ける、シンプルな新しい方法です。

- Coherence でのトレイからの通知の改良 - Coherence で Windows の通知が表示されます。

- 共有フォルダの強化 - 共有フォルダからのデータの交換を強化

- トラックパッドジェスチャーサポート - MS Word、MS Excel、MS PowerPoint、Internet Explorer、Mozilla Firefox などを含む Windows アプリケーションで、マルチタッチトラックパッドジェスチャー (スワイプ、回転、ピンチ) を使用できます。

- Apple Remote サポート - Apple Remote で、MS Power Point、Windows Media Player、Winamp、Internet Explorer、Mozilla Firefox などのコントロールができます。

- 横方向スクロール - 横方向スクロール機能のマウスでバイスをサポート。

- 仮想リンク - Windows 仮想マシンから、Mac OS ファイルヘイリアスを使用できます。

- Linux ゲスト OS でのクリップボード共有 - Linux ゲスト OS と Mac OS の間でコピーを可能に。

- 整形済みテキストのコピーアンドペースト - 異なる Windows および Linux 仮想マシンと Mac との間で整形済みテキストをコピーアンドペースト可能に - スタイルフォーマットが保持されます。

- 画像のコピーアンドペースト - 異なる Windows および Linux 仮想マシンと Mac

との間で画像のコピーアンドペーストが可能に。

- ドラッグアンドドロップの強化 - Windows 仮想マシンと Mac OS X の間で email 添付をドラッグアンドドロップで。
- 共有プロファイルの強化 - Windows ムービーやダウンロードフォルダを Mac と Windows の両方からアクセス可能に。
- Smart Mount の強化 - Mac に接続される、デバイスのタイプごとに Windows にマウントするか選択可能に。
- コンテキストメニューアイテム - コンテキストメニュー内の " Finder で表示 " と " Mac で開く " アイテムで Windows 仮想マシンのファイルを Mac OS 共有から実行します。
- 仮想マシンの分離 - セキュリティまたはその他の目的で、仮想マシンから Mac を分離できます。
- ユニバーサルキーボードスイッチ - Mac と仮想マシンで、同じショートカットによりキーボードの入力言語を切り替える。
- キーボードのオートキャプチャ - Parallels Desktop にフォーカスされたときにキーボード入力が自動的にキャプチャされる。

仮想デバイスサポート

- USB スピードの強化 - USB スピードを強化。
- USB 互換性の強化 - サポートする USB デバイスのタイプを拡張。
- Mac VLAN でのブリッジ - 仮想マシンから Mac OS X VLAN でアクセス可能に。
- 自動的な圧縮 - 未使用のスペースが大きくなると、仮想ハードディスクのサイズを自動的に縮小する。
- Mac OS X システム環境設定に仮想ネットワークアダプタがリストされないように。
- CAC リーダデバイスサポート - 仮想マシンで Common access cards をサポート。
- 柔軟な Boot Camp パーティション構成 - 複数の Boot Camp パーティションがある場合、仮想マシンに使用するものを選択できるように。
- 内蔵されたディスクサイズ変更ツール - 仮想マシン構成から直接、仮想マシンのハードディスクのサイズを変更可能に - これに応じて仮想マシンのファイルシステムのサイズも変更される。

ゲスト OS のインストール

- Windows 7 高速インストール - Windows 7 が、無人モードでインストールできます。

- Linux 高速インストール — メジャーな Linux OS が、無人モードでインストールできます。

追加のツール

- Parallels Transporter – 物理コンピュータまたはサードパーティ製仮想マシン (VMware、Microsoft Virtual PC または VirtualBox) を Parallels 仮想マシンへ移行。Microsoft Windows 7 もサポート。
 - Parallels Image Tool – 仮想ハードディスクのサイズ変更とフォーマットの変更を可能にします。
-

3. システム要件

ハードウェア要件

- Intel プロセッサ搭載 (1.66 GHz 以上) の Macintosh コンピュータ。仮想マシンで 64 ビットオペレーティングシステムを動作させるには、Intel Core 2 以上のプロセッサが必要です。
- 最小 1 GB のメモリ、2 GB 以上を推奨。
- Parallels Desktop のインストールには、起動ボリュームにおよそ 300 MB の空きスペースが必要です。
- 仮想マシンごとにおよそ 15 GB のディスクスペースが必要です。

ソフトウェア要件

- Mac OS X Snow Leopard 10.6 以降
- Mac OS X Leopard v10.5.2 以降
- Mac OS X Tiger v10.4.11 以降

お使いの Mac OS X バージョン、プロセッサの種類、メモリ搭載量などの情報を知るには、アップルメニューの、この Mac についてを選択します。

4. サポートするゲストオペレーティングシステム

32 ビットオペレーティングシステム

- Mac OS X Snow Leopard Server 10.6
- Mac OS X Leopard Server 10.5.x
- Windows 7
- Windows 2008

- Windows Vista®
- Windows Server® 2003 SP2, R2
- Windows XP Professional SP2, SP3, Home Edition SP2, SP3
- Windows 2000 Server SP4, Advanced Server SP4
- Windows NT 4.0 Server SP6, Workstation SP6
- Windows ME
- Windows 98 SE
- Windows 95
- Windows 3.11
- MS-DOS 6.22
- Red Hat® Enterprise Linux 5.0, 4.0
- CentOS Linux 5.0, 4.0
- Red Hat Linux 9
- Fedora™ Linux 9, 8, 7
- SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP2, 9 SP3
- OpenSUSE Linux 10.3, 10.2
- Mandriva™ Linux 2008, 2007
- Debian® Linux 4.0
- Ubuntu® Linux 8.04, 7.10
- Xandros Business 4.0
- Solaris® 10, 9
- FreeBSD® 7.0, 6.2
- OS/2® Warp 4.5
- eComStation™ 1.2

64 ビットオペレーティングシステム

- Mac OS X Leopard Server 10.5.x
- Windows 7
- Windows 2008
- Windows Vista
- Windows Server 2003 SP2, R2
- Windows XP Professional SP2
- Red Hat Enterprise Linux 5.0
- CentOS Linux 5.0
- Fedora Linux 9, 8
- SUSE Linux Enterprise Server 10 SP2, 9 SP3
- OpenSUSE Linux 10.3, 10.2
- Ubuntu Linux 8.04, 7.10
- Mandriva Linux 2008, 2007
- Solaris 10
- FreeBSD 7.0

5. Parallels Desktop のインストール

Parallels オンラインストアから Parallels Desktop を購入した場合は、[Parallels ダウンロードセンター](#) から最新のビルドをダウンロードします。ダウンロードが完了し

たら、Parallels Desktop の DMG パッケージファイルを開きます。インストールを開始するには、Install をダブルクリックします。

Parallels Desktop のパッケージ版を購入した場合は、Parallels Desktop のインストールディスクを Mac の光学ドライブに挿入します。Parallels Desktop の DMG パッケージを開き、Install をダブルクリックします。

1. Parallels Desktop は Parallels アップデートサーバに接続し、アップデートをチェックします。

- インストールしようとしているバージョンより新しいバージョンが見つかったら、新しいバージョンかインストールしようとしているバージョンをインストールするか確認するメッセージが表示されます。現在のバージョンをインストールをクリックすると、DMG パッケージがインストールされます。新しいバージョンのダウンロードとインストールをクリックすると、最新版の Parallels Desktop がダウンロードされます。

- アップデートが存在しないか、インターネットに接続されていない場合は、元のバージョンがインストールされます。

2. ようこそウィンドウで**続ける**をクリックします。

3. **大切な情報**ウィンドウで、**Readme** ファイルを読みます。**プリント**をクリックしてプリントするか、保存して後から読むこともできます。**続ける**をクリックします。

備考: 前のステップに戻るには、**戻る**ボタンをクリックします。

4. **使用許諾契約**ウィンドウで、使用許諾契約書を注意深く読みます。プリントするか保存して、後から読むことをお勧めします。**続ける**をクリックします。

5. インストールを続けるには、許諾契約の内容に同意する必要があります。

6. **インストール先の選択**ウィンドウで、Parallels Desktop のインストール先ハードディスクを選択します。Parallels Desktop をインストールできるのは、Mac OS X がインストールされた起動ボリュームのみです。他のディスクは選択することができません。**続ける**をクリックします。

7. **インストール**をクリックしてインストールを始めるか、または**アップグレード**をクリックして前のバージョンをアップグレードします。

パスワードを求められたら入力し、**OK** をクリックします。

8. **インストール**ウィンドウでインストールの進捗を確認できます。

9. インストーラはインストール成功のメッセージを表示します。インストールを完了するために**閉じる**をクリックします。

インストールが終了したら、アプリケーションフォルダから Parallels Desktop

を起動することができます。Parallels Desktop アドオンの Parallelster Transporter、Parallels Image Tool は、/Applications/Parallels/ フォルダより利用できます。

6. Parallels Desktop 5 for Mac へのアップグレード

新しいバージョンにアップグレードするには、上記の手順でインストールする必要があります。その後アップグレードアクティベーションキーでアクティベートします。

アップグレードする前に、前のバージョンの Parallels Desktop を削除する必要はありません。インストーラは Parallels Desktop 5 をインストールする前に自動的に削除します。

アップグレードアクティベーションキー

Parallels Desktop 5 をアクティベートするには、アップグレードアクティベーションキーを購入する必要があります。さらに前のバージョンのキーも必要になります。

- 前のバージョンの Parallels Desktop を製品版アクティベーションキーでアクティベーション済の場合、アップグレード版のキー入力のみが必要です。

- 前のバージョンのトライアルアクティベーションキーでアクティベート済の場合、前のバージョンの製品版のキーとアップグレード版のキーの両方の入力を求められます。

Parallels Desktop 3.0 およびそれ以前で作成された仮想マシンを新しいフォーマットに変換する

Parallels Desktop 5 および Parallels Desktop 4 は、Parallels Desktop 3.0 とは違うフォーマットを使います。Parallels Desktop 3.0 で作成された仮想マシンを起動すると、新しいフォーマットに変換するか問い合わせます。新しいフォーマットに変換する場合には、以下を選択できます：

- **バックアップして変換する**をクリックすると、仮想マシンをバックアップしてから、新しいフォーマットに変換します。Parallels Desktop 3.0 でこの仮想マシンを使用する必要がある場合は、バックアップから復元できます。

- **変換**をクリックすると、バックアップ無しに変換します。この変換は元に戻せません。このオプションを選択すると、仮想マシンは古いフォーマットに戻すことがで

きません。

仮想マシンの構成とのアップグレードと Parallels Tools のアップデート

仮想マシンは変換されると、構成もアップグレードされます。Parallels Tools も同様にインストールされます。

備考: Linux 仮想マシンでは、アップグレード後に Xserver の起動に失敗することがあります。この場合、テキストモードで手動で Parallels Tools のアップグレードをする必要があります。

7. Parallels Desktop のアクティベーション

Parallels Desktop のすべての機能を利用するには、悪ティエベーションキーでアクティベートする必要があります。パッケージ版を購入した場合は、ユーザー登録のご案内、または、クイックスタートガイドの裏面にアクティベーションキーが添付されています。オンラインで購入した場合、アクティベーションキーは電子メールで送信されます。ご購入前に体験版をダウンロードした場合、一定の有効期限が設定されたトライアルアクティベーションキーが提供されます。

プロダクトをアクティベートするには:

1. Parallels Desktop を起動します
2. ヘルプメニューから **プロダクトアクティベート** を選択します。
3. プロダクトアクティベーションダイアログで、名前と会社名 (これらのフィールドはオプションです) を入力し、**アクティベーションキー** フィールドにアクティベーションキーを入力します。**アクティベート** ボタンをクリックして終了します。

以上で Parallels Desktop はアクティベートされました。仮想マシンを作成してオペレーティングシステムをインストールし、仮想マシンのアプリケーションを Mac のアプリケーションと並べて使用できます。

Parallels Desktop のアクティベーションが完了したら、登録することをおすすめします。登録ユーザーのみが最新の修正が反映されたアップデートを入手できます。

8. 仮想マシンの設定

Parallels Desktop の初めての起動時にウェルカムスクリーンが表示されます。前のバージョンからアップグレードした場合、"**仮想マシンを使用する**" をクリックして

仮想マシンにアクセスします。

新しく仮想マシンを作成したい場合、**Windows のインストール**をクリックします。

1. 新規仮想マシンアシスタントが表示されます。
2. オペレーティングシステムインストール CD を Mac の光学ドライブに挿入してアシスタントの手順にしたがいます。
3. アシスタントは、仮想マシンを作成し、オペレーティングシステムをインストールします。
4. オペレーティングシステムのインストールが終わったら、仮想マシンに Parallels Tools をインストールします。

オペレーティングシステムと Parallels Tools がインストールされると、仮想マシンで作業ができるようになります。

9. 既知の問題 (build 5.0.9220)

- MacLook オプションを無効にすると、Windows テーマが、Windows クラシックに切り替わることがあります。この問題を回避するには、MacLook を有効にし、再度無効にするかまたは、仮想マシンを再起動します。

- Snow Leopard ホストコンピュータを 64 ビットカーネルモードで起動したときに、共有 (Mac から Windows ファイルを開く) が選択できず動作しません。

- 初めに作られた Boot Camp パーティションを削除してから Windows 7 をインストールして作成した Boot Camp パーティションは、Mac OS で検出できずに、Parallels Desktop で使用することができません。

- Mac OS X 10.6 および Mac OS X 10.6.1 において、Apple Remote が仮想マシン内だけで操作をできません。この問題を回避するには、Mac OS X 10.6.2 以上にアップグレードします。

- Crystal から戻ったときに、Dock のアイコンが Parallels Desktop 動作していないように見えることがあります。この問題は機能として影響はありません。

- Windows 7 に Parallels Internet Security をインストール後、ネットワークが遮断されたというメッセージが表示されることがあります。このメッセージは無視してください: ネットワークは通常通り利用可能です。

- 64 ビットの Mac OS X Snow Leopard Server 仮想マシンで、共有フォルダが動作しません。32 ビットの Mac OS X Snow Leopard Server 仮想マシンでは動作します。

- Linux ディストリビューションで Pulesaudio を有効にしている場合に、サウンド

が途切れることがあります。

- 仮想マシン名を変更した後、Dock の Windows アプリケーションフォルダが新しい名前で作成されます。変更前の仮想マシン名のフォルダは手動で削除する必要があります。

- VMware Fusion からインポートした仮想マシンで、Windows へのログインで時間がかかることがあります。仮想マシンを VMware から Parallels に変換する前に、VMware Tools をアンインストールしておくことをお勧めします。

- Parallels Internet Security をインストール後、Windows 7 は Windows ファイアウォールが無効というメッセージを表示します。

- 物理 PC 側で USB ケーブルを USB 1.1 ポートに接続していると、物理 PC からの移行は動作しません。

10. 著作権表示

Copyright© 1999-2009 by Parallels Holdings, Ltd.
All rights reserved.

Parallels, Coherence, Parallels Transporter, Parallels Compressor, Parallels Desktop, and Parallels Explorer are registered trademarks of Parallels Software International, Inc. Virtuozzo, Plesk, HSPcomplete, and corresponding logos are trademarks of Parallels Holdings, Ltd. The Parallels logo is a trademark of Parallels Holdings, Ltd.

This product is based on a technology that is the subject matter of a number of patent pending applications. Distribution of this work or derivative of this work in any form is prohibited unless prior written permission is obtained from the copyright holder.

Microsoft, Windows, Windows Server, Windows NT, Windows Vista, and MS-DOS are registered trademarks of Microsoft Corporation.
Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.
Apple, Mac, and Mac OS are trademarks of Apple Inc.
All other marks and names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

11. お問い合わせ先

プロダクトウェブサイト : <http://www.parallels.com/jp/>